



市史へんさん

第 262 号

令和 3 年 1 月 1 日

小松市史編纂担当

へんさんだより

明けましておめでとうございます。今年こそコロナを吹き飛ばして、オリンピックイヤーを盛り上げたいものです。市史編纂事業も活動を休止することなく、「3密」を守って、各種行事を開催して参ります。昨年、中止になった「古文書講座」も 2 月末に開催予定ですので、皆様の参加を心よりお待ち申しております。

市制 80 周年記念 『写真でふりかえる小松市 ～エピローグ～』

市制 80 周年記念式典は、昨年 12 月 6 日に執り行われ、その記念誌も発刊され、新年と共に新たなスタートを切りました。そこで今月からの図書館西口の展示は、「エピローグ」と題し、昨年をとおして展示した記念行事を振り返ります。なお、今年度の編纂事業は、市制 80 周年に合わせたかのように、『近現代編』の発刊年と重なり、今、その編集作業が佳境を向えています。こちらは多くの過去の史資料から、当市の近現代を探ります。

《10 年ごとの主な記念行事》

【市制 10 周年／昭和 25 年(1950)】

5/13 記念式典・舞台踊り・能楽・神輿渡御・獅子舞競演・仮装行列 5/14～15 素人演芸・手踊り・児童演芸
5/15 『小松市史』第 1 巻発行

【市制 20 周年／昭和 35 年(1960)】

6/3 記念式典・邦楽舞踊大会(吹奏楽・箏曲「八千代獅子」・小唄・小唄ふり)・小松まつり(棒振り獅子舞・祝賀カーニバル)・小中学校生による旗行列 12/1 記念誌発行

【市制 30 周年／昭和 45 年(1970)】

4/30 粟津～那谷間県道沿いに桜・楓記念植樹 5/13 文化講演会(水上勉・開高健・西川辰美) 5/14 記念式典・記念講演(外交評論家 加瀬俊一)・芦城公園に月桂樹植樹・中央公民館落成記念行事 3/31 記念誌発行

【市制 40 周年／昭和 55 年(1980)】

4/1 市の木「松」・市の花「梅」制定 5/14 記念式典(姉妹都市市長夫妻招待) 5 月小松産業物産展 8 月高校野球招待試合 9 月記録映画 4 編作成(市立女子高校製作) 9～10 月宮本三郎遺作展 10 月松・梅記念植樹・配布

【市制 50 周年／平成 2 年(1990)】

4/14・15 春の章「小松城園遊会」 8/4・5 夏の章「水と光と音の祭典」 10/14 秋の章「義経シンポジウム」 12/1 フィナーレ「翔け小松! 夢と創造の祭典」(記念式典・タイムカプセル除幕) 3/31 記念誌発行

【市制 60 周年／平成 12 年(2000)】

8/5・6 ジュニア国際文化祭 10/7 五木寛之講演会 10/9・10 大相撲小松場所 11/5 千宗室特別講座 11/22・23 全国男女共同参画宣言都市サミット 12/1 記念式典・記念誌発刊 12/9 ベルリン・フィルハーモニー公演

【市制 70 周年／平成 22 年(2010)】

4/29 芦城公園園遊会 6/19・20 白山眺望ソーデーウォーク 8/8「出張! なんでも鑑定団 in 小松」公開収録 9/5 環境&景観フェスタ 10/2「俳句王国」公開録画 12/1 記念誌『図説 こまつ歴史』発行 12/5 記念式典

【市制 80 周年／令和 2 年(2020)】

2/8・9 市川海老蔵特別公演 6/5 利常公小松城入城 380 周年感謝奉納 10/4 八町こども歌舞伎上演 11/14・15 小松文化の祭典 12/1 記念誌発行 12/6 記念式典 12/1～80(ハチマル)スクエアプロジェクトマッピング



大谷山貝塚を調査する北陸大谷高等学校地歴部員たち(昭和38年)

【埋蔵文化財・遺跡とは…】考古資料は、文化財保護法では、「埋蔵文化財」という分野で保護対象とされている。文献資料がいくら残されていても、真実を物語るのは、発掘された資料であり、それを掘り起こすのが「遺跡」調査である。時代の風潮を受け、苦難の道をたどる当市の調査の歩みを第2章で振り返る。

【空白の25年間】太平洋戦争後に考古学ブームが訪れたが、国土の復興と開発を優先した高度成長期に入り、多くの遺跡が破壊された。行政は資料収集程度の対応で、行政が主体となる昭和50年代までは、上野与一と彼が率いる高校地歴部が、工事現場脇のわずかな残存部を調査して、25年間の空白を支えた。

【開発と保存で揺れる市政】60年代に入り、バブル経済で当市も丘陵地開発が進み、東部産業振興団地(国府台)造成が計画された。ところが、62基もの大古墳群が発見され、さらに、朝鮮半島王墓との関連がある横穴式石室が確認されたことから、全国的にも注目され、市政は「開発と保存」で大きく揺れた。最終的に古墳公園の整備、資料館建設で事態は収束した。これを教訓に、開発に先立つ遺跡の事前調査が徹底され、それが後に、国の重要文化財として指定を受ける矢田野エジリ古墳の埴輪発見につながる事となる。



造成工事と調査が並行する河田山古墳群

【調査体制の整備】平成に入って、宅地開発や区画整理などの大規模開発が続く中、事前確認調査の徹底により、八日市地方遺跡を始め、八里向山遺跡群、額見町遺跡、漆町遺跡など重要遺跡の発見につながった。高校生達の小さな発見や苦難の末に積み上げた調査成果が本市のまちづくりの源流、未来への指針に導いていると言っても過言ではない。2章は現在の発掘現場をつくりあげた先人達の苦勞の歩みを感じ取っていただきたい。

<12月の活動状況>

- ・12月5～19日 近現代編原史料確認調査
- ・12月6日(日) 通史(近世)小部会
- ・12月19日(土) 近現代部会



<1月の活動予定>

- ・1月30日(土) 近現代部会



<1月のカレンダー> 開室時間 10:00～12:30/13:00～17:00(火～土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

* は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間で、御用のある方は、9時から17時まで受け付けますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂担当(小松市立図書館2階)

・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 芦城公園内

・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763

・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp

・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

